



平成29年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年12月8日

上場会社名 株式会社きんえい 上場取引所 東
 コード番号 9636 URL http://www.kin-ei.co.jp
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)丸山 隆司
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)好井 裕一 (TEL)06(6632)4553
 四半期報告書提出予定日 平成28年12月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年1月期第3四半期の業績(平成28年2月1日～平成28年10月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年1月期第3四半期	2,689	4.9	191	19.4	191	17.5	122	28.2
28年1月期第3四半期	2,565	2.6	160	36.5	163	25.5	95	40.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年1月期第3四半期	43 91	—
28年1月期第3四半期	34 24	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年1月期第3四半期	4,826	1,852	38.4
28年1月期	5,035	1,758	34.9

(参考) 自己資本 29年1月期第3四半期 1,852百万円 28年1月期 1,758百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年1月期	—	0 00	—	10 00	10 00
29年1月期	—	0 00	—		
29年1月期(予想)				10 00	10 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年1月期の業績予想(平成28年2月1日～平成29年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,430	2.2	190	8.8	190	6.7	100	11.5	35 85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年1月期3Q	2,821,000株	28年1月期	2,821,000株
29年1月期3Q	31,461株	28年1月期	31,288株
29年1月期3Q	2,789,678株	28年1月期3Q	2,789,889株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善が進み一部持ち直しの動きが出たものの、円高・株安が進行し力強さを欠く状況のうちに推移しました。

この間当社におきましては、事業全般に亘って顧客満足度のより高いサービスの提供に努めるとともに、部門別業績管理のさらなる徹底を図り、集客と収入の確保に努めました。

各セグメントの状況は次のとおりであります。

シネマ・アミューズメント事業部門におきましては、映画では、当第3四半期会計期間に上映を開始し記録的なヒットを記録しつつある“君の名は。”をはじめ、“ズートピア”“ファインディング・ドリー”“名探偵コナン”“ONE PIECE FILM GOLD”“シン・ゴジラ”“ペット”“後妻業の女”“信長協奏曲”“ドラえもん”などの話題作品を上映して観客誘致に努めました。また、ルシアスビル側の館内ロビー照明器具をLED化するなど設備面での改善を進めるとともに、映画会員制度「アポロシネマメンバーズ」の会員獲得に努めるなど積極的な広告宣伝活動や販売促進活動を展開した結果、娯楽場部門を含めたこの部門全体の収入合計は、1,345,161千円（前年同期比7.5%増）となり、営業原価控除後では72,984千円のセグメント利益（前年同期比71.6%増）となりました。

不動産事業部門におきましては、アポロビルにおいて、エスカレーター更新工事の最終期工事を完了し、上層階の美装工事を実施するなど、より快適で安全なビルづくりを推進しました。また、劇場事業と連携した誘客活動を進めるとともに、賃貸収入の確保に向けて、ビル入居率の維持・向上を図るため、空室部分への後継テナント誘致に注力いたしました結果、駐車場収入等ビル付帯事業並びにその他の事業を含めたこのセグメント全体の収入合計は、1,344,837千円（前年同期比2.3%増）となり、セグメント利益につきましても、319,223千円（前年同期比0.7%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は、2,689,998千円（前年同期比4.9%増）となり、費用の面におきましても全社において諸経費全般に亘って鋭意削減に努めました結果、営業利益は191,438千円（前年同期比19.4%増）となり、経常利益は191,621千円（前年同期比17.5%増）、四半期純利益は122,491千円（前年同期比28.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、短期貸付金の減少等により前期末に比較して208,665千円減少し、4,826,647千円となりました。

負債は、設備関係未払金の減少等により、前期末に比較して302,043千円減少し、2,974,398千円となりました。

また、純資産は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したため、前期末に比較して93,378千円増加し、1,852,248千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年1月期の業績予想につきましては、平成28年9月6日に「平成29年1月期第2四半期決算短信（非連結）」にて公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年1月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	125,590	89,503
売掛金	103,054	100,621
商品	3,594	4,048
その他	532,380	494,067
流動資産合計	764,619	688,241
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,140,506	2,025,882
機械及び装置(純額)	54,047	45,387
工具、器具及び備品(純額)	78,595	62,844
土地	1,123,748	1,123,748
有形固定資産合計	3,396,897	3,257,863
無形固定資産	32,300	19,961
投資その他の資産		
差入保証金	799,785	822,714
その他	41,708	37,866
投資その他の資産合計	841,494	860,581
固定資産合計	4,270,693	4,138,406
資産合計	5,035,312	4,826,647
負債の部		
流動負債		
買掛金	112,714	117,367
短期借入金	307,500	265,000
1年内返済予定の長期借入金	6,580	—
未払法人税等	38,803	51,163
賞与引当金	10,900	32,000
その他	807,622	537,339
流動負債合計	1,284,120	1,002,869
固定負債		
退職給付引当金	75,708	82,976
受入保証金	1,569,729	1,561,618
資産除去債務	283,077	285,835
その他	63,806	41,099
固定負債合計	1,992,321	1,971,529
負債合計	3,276,442	2,974,398

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年1月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,200	564,200
資本剰余金	24,155	24,155
利益剰余金	1,275,502	1,370,072
自己株式	△107,246	△107,761
株主資本合計	1,756,612	1,850,666
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,258	1,582
評価・換算差額等合計	2,258	1,582
純資産合計	1,758,870	1,852,248
負債純資産合計	5,035,312	4,826,647

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)
売上高	2,565,198	2,689,998
営業原価	2,205,692	2,297,790
営業総利益	359,506	392,207
一般管理費	199,217	200,769
営業利益	160,289	191,438
営業外収益		
受取利息	975	785
受取配当金	133	103
保険差益	273	2,357
違約金収入	2,439	-
工事負担金収入	1,749	-
雑収入	557	236
営業外収益合計	6,129	3,482
営業外費用		
支払利息	3,257	1,884
固定資産圧縮損	-	1,408
雑支出	9	5
営業外費用合計	3,266	3,299
経常利益	163,151	191,621
特別損失		
固定資産除却損	21,287	8,735
特別損失合計	21,287	8,735
税引前四半期純利益	141,864	182,886
法人税、住民税及び事業税	75,100	84,295
法人税等調整額	△28,771	△23,901
法人税等合計	46,328	60,394
四半期純利益	95,535	122,491

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(平成27年2月1日から平成27年10月31日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,251,030	1,314,167	2,565,198	—	2,565,198
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,251,030	1,314,167	2,565,198	—	2,565,198
セグメント利益	42,533	316,972	359,506	△199,217	160,289

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(平成28年2月1日から平成28年10月31日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,345,161	1,344,837	2,689,998	—	2,689,998
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,345,161	1,344,837	2,689,998	—	2,689,998
セグメント利益	72,984	319,223	392,207	△200,769	191,438

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。